



サロマ

第124号 平成21年1月

社協だより

発行 社会福祉法人佐呂間町社会福祉協議会 老人福祉センター内 TEL 2-3732
saroma-shakyo@hokkaido.email.ne.jp

サポーター研修?
日ハムの応援ではありません

認知症を支える第一歩を勉強しました

ひとりぐらし高齢者の集い

12月19日、今年3回目のひとりぐらしの集いを開催したところ、69名の参加をいただきました。今回は認知症を患った方が、地域で孤立せずに生活するために大切な「心の杖ツ1」となる方を養成する「認知症サポーター養成研修」を実施しました。

この集いの参加者は、戦時の大変な時代や竜巻の災害を経験され、人の苦勞を「察して思いやる」方ばかりですので、地域の「馴染み」で認知症患者と家族を支援するサポーターの役割をお話しすると、皆さん深く頷いておりました。

更に自分に認知症の心配がある場合は、専門医への早期の受診と治療が大事であることについてもご理解いただけたと思います。

お昼には日赤奉仕団が調理したおいしい食事を楽しんだあと、午後からは景品盛りだくさんのビンゴゲームで、大いに盛り上がりました。



サポーター研修中、みなさん真剣ですね



ビンゴにジャンケンゲームで熱気ムンムンです



この社協だよりは、共同募金の配分により、発行されています



安心して暮らせる 安全な福祉のまちづくり

社会福祉法人佐呂間町社会福祉協議会

会長 宇佐美 不二夫

皆様あけましてお目出度うございませう。

平成二十一年の新春を心新たな希望と期待をもって迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

本町社会福祉協議会は昨年福祉法人化二十周年を迎えることができました。

常日頃、本会の運営と福祉活動の推進に当たり、皆様には永年に亘り深いご理解とご協力をいただきましたことを心から感謝申し上げます。

昨年は国内に台風が一度も上陸することがなく災害の少ない気象条件に恵まれ、年末まで温暖な日々が続き、平穏な年となり基幹産業の農業や漁業にとっても豊穡の秋を迎えることがで

きたものと思えます。

一方アメリカの住宅産業の不振に端を発した経済的不況は、我が国にも多大な影響を及ぼし近年にない世界的な金融恐慌を惹起し、加えて石油の原油価格の異常な高騰は国民生活を圧迫しており、年の瀬を迎えて突然の解雇や新規採用の取り消しなどが社会問題として大きく取り上げられ、私達の将来が、今後どの様に変貌するのか懸念されるところであります。

又福祉施策の面でも、福祉・医療・介護・年金等では、国の施策や財政的なこともあって将来性を実感できない深刻な事態となっております。

特に医師不足の問題は、地域医療の根幹を揺るがす問題で

あつて、医療機関の廃止や規模縮小等は、緊急時の医療活動に少なからず影響を及ぼしていることが報じられており、国の積極的な対応策が望まれているところであります。

本社会福祉協議会は昨年から、地域福祉の向上を図るため、地域住民の協力を得て「地域をみんなの手で支え合う地域づくり」を目標に事業を推進して参りましたが、本年度から北海道社会福祉協議会が提唱している「安心して暮らせる、安全な福祉のまちづくり」を加えて、少子高齢化がすすむ社会情勢の中で、住民による相互扶助の精神を涵養して参りたいと考えます。

在宅福祉を柱として、訪問介護サービス事業を町内民間福祉施設等と連携を図りながら、利用者の立場になり一層適切なサービスに努めて参ります。

又ボランティア連絡協議会や

老人クラブ等福祉諸団体の協力を得て福祉活動の向上に努め、更に「たすけあいチーム」には、地域の子どもや高齢者の安全を守り、安心して暮らせる生活環境づくりに、ご協力いただきたいと思えます。

特に昨年本社協が「独立行政法人福祉医療機構」から助成をいただき導入した除雪機を活用した除排雪活動に、ご協力をお願い申し上げます。

本年も町民の皆様や福祉諸団体のご協力をいただき、地域福祉活動と介護サービスの向上のために役職員一同努力を重ねて参りますので尚一層のご支援をお願い申し上げます。

新しい年が、明るい世相となり、安心して暮らせる環境になることを願い、皆様のご健勝とご多幸とお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

平成20年度社協会費 結果報告について



佐呂間町社会福祉協議会の平成20年度会費は、数多くの世帯や事業所のご理解とご賛同により、本年も下記のとおりたくさんの方の会費を頂きました。厚くお礼申し上げます。

平成20年度 社協会費納入状況

	平成20年度(実績額)		平成21年度(11/20現在)		前年度比
普通会費	1,943件	1,914,800円	1,907件	1,868,900円	97.6%
特別会費	97件	198,000円	85件	182,000円	91.9%
法人会費	73件	486,000円	76件	506,000円	104%
計	2,113件	2,598,800円	2,068件	2,556,900円	98%

法人会費納入事業所名

(順不同・敬称略)

(有) 太正商運 渡部林業(株) 若佐歯科医院 遠軽信用金庫 若佐支店 佐呂間砕石工業(株) (有) 山腰商店 丸喜北日本物流(株) 有限会社 一正松福水産 ホテルルートイン グランティアサロマ湖 (株) 北勝水産 佐呂間漁業協同組合 (株) ドリームフロンティア (有) トップファーム 農事組合法人 石田牧場 佐呂間水産加工協同組合 (株) 愛生の杜 海山美味の宿悠林館 (株) 丸本本間水産 (株) 森機械製作所 佐呂間運輸(株) (株) エム・リンク 佐呂間町森林組合 森永乳業(株) 佐呂間工場 有限会社まつお (有) 宇野自動車整備工場	(有) 馬場デンキ (株) 伊藤機械金物商会 みのや産業(株) (有) 江戸っ子 (株) 五十嵐組 (有) あおき (株) 岸組 佐呂間トラック(株) (有) 吉野石油販売 佐呂間ツバメ石油(株) (株) サロマ農機車輛センター 押野商会 三協工業(株) (有) 沢井商店 (株) 坂本建設 (有) 多田商店 (有) 佐々木写真館 井谷印刷(株) (有) 今野新聞店 佐呂間開発工業(株) (株) 三栄通商 (株) 面電気商会 高橋土建(株) 鮎の八洲 やつ歯科医院	三和商事(株) (有) ユモト 佐呂間厚生病院 小田病院 (株) 丸栄吉野商店 遠軽信用金庫佐呂間支店 (有) 佐呂間中央観光 佐呂間町農業協同組合 上野商店 (株) Aコープサロマ (有) 佐呂間ハイヤー 太陽商会(株) 佐呂間営業所 佐呂間郵便局 佐呂間町商工会 (有) 井上左官店 (株) ビーンズ 佐呂間町仏教会 西光寺 高隆寺 明正寺 應徳寺 大昭寺 正法寺 光明寺
--	---	---

余興ボランティア 参加募集中

社会福祉協議会とボランティア連絡協議会では、病院や福祉施設で、余興披露を通してご利用者と交流する「余興ボランティア」を募集しております

活動内容

町内病院や福祉施設に訪問して余興や一芸披露を通じて患者さんやご利用者と交流するボランティアです。

対象者・団体

創作ダンス・舞踊・フラダンス
詩吟・合唱・校歌斉唱・カラオケ・校歌斉唱・ゴスペル・吹奏楽・大正琴・ハーモニカ・漫談・手品・隠し芸・その他
・病院や施設でボランティアしたい人
・活動発表の場を探している人
・何かボランティアをはじめたい人

訪問先

町内病院、老人ホーム、ケアハウス、グループホーム、デイサービス、ふれあいサロン、その他

お問い合わせ

佐呂間町社会福祉協議会
電話 (213732)

北海道コカコーラ 福祉施設に寄贈

十二月十七日、北海道コカコーラポトリング株式会社より、地域に対する社会貢献活動の一環として、町内福祉施設にコカコーラ飲料約二〇〇本を、クリスマスプレゼントとして頂きました。

今年度は道内二七〇施設に七万五千本が届けられ、活動が始まった昭和四十三年から通算して二一四万五千本が寄贈されています。

頂いた飲料は、特別老人ホーム愛の園、サンガーデンさるま、グループホーム夢ふうせんさるま、グループホームはな佐呂間、安心ハウスのどかに、お届けしました。



佐呂間中学校 海外支援募金活動

十二月十五日、佐呂間中学校生徒会(山口佳亮会長)が訪れ、中学校で行われた募金活動で集めた一万千百十円を、NHK海外たすけあい義援金として、寄付いただきました。

海外たすけあい義援金は、日本赤十字社と日本放送協会(NHK)との共催で、世界中の被災地や疾病の広がる地域で、給水設備の設置や地雷犠牲者への義肢の支援や防波効果を持つマングローブの植林など、国際救済活動に役立てられます。



生活福祉資金・修学資金等

貸付のご案内

この制度は、専門学校・大学等に進学される方や、既に在学されている方に対して、勉学のために必要な入学金や授業料等を無利子で貸付を行う制度です



貸付対象

金融機関の教育ローンや公的貸付制度(母子寡婦福祉資金他)を利用できない、低所得世帯や障害者世帯

貸付額・返済期間

入学生度費 五十万円を限度
修学費 四年制私立大学の場合
月額六万五千円を限度

※申込時の使途審査により申込額を決定

貸付審査

民生委員による相談援助(調査)世帯所得確認・使途計画の作成
他貸付制度が利用不可の理由確認他

このような場合 貸付できません

○他の貸付金制度が利用できる方
○既に支払い済みの経費には貸付できません。

お問い合わせ

社会福祉協議会(担当 相馬)
電話 213732

除排雪サービス 支援事業について

社会福祉協議会では、たすけあいチーム（自治会）と連携して、冬期間の除排雪作業が困難な障害者世帯や要介護高齢者世帯に対して除排雪サービス事業を開始します。

除排雪サービスとは

たすけあいチームや自治会のボランティア活動として行われる除排雪活動です。
小型除雪機と排雪用ダンプを持つ除雪機運搬用軽トラックを貸し出し、身障者や要介護者世帯の除排雪活動を支援します。

貸し出し内容

ホンダ除雪機（九馬力）※2台所有
ダイハツ軽トラック ※1台所有
排雪用ダンプ機能付き・除雪機運搬用

貸し出し先

たすけあいチーム
自治会（福祉部など除雪を担当する部署）
除雪を目的としたボランティア組織

サービス内容

概ね20cm以上積雪時の玄関通路の除雪
危険がある場合の軽トラックを利用した排雪

除排雪の担当者

ボランティアとして除排雪活動に参加可能な
たすけあいチーム・自治会担当部署等
※活動者は全員ボランティア保険に加入

除排雪サービス対象者

町民税非課税世帯で以下に該当する方から申請を
いただき、対象者を決定します
・七〇歳以上で要支援1以上の在宅介護サービス利用者
・重度心身障害者世帯（障害等級1・2級の方、
保健福祉手帳、療育手帳の所持者）

このような場合ご利用できません

- ・役場が行う除雪事業（福祉路線）の対象者
- ・同居家族による除雪が可能な方
- ・既にご近所・たすけあいチーム・自治会福祉部で除雪が行われている世帯

利用申請・決定・登録

- ・利用を希望する方は、利用申請書と町民非課税を証明する資料の提出が必要です
- ・申請内容を審査の上、利用の可否を決定します
- ・決定後は居住地域のたすけあいチームなどに連絡して除排雪サービス実施準備を進めます

利用料金

- ・利用料は無料（除雪機トラックの利用も無料）

利用の際の注意

- ・ボランティア主体の活動のため、除雪の時間や内容は希望に添えない場合があります。
- ・作業中の事故（人身・物損）については、ボランティア活動保険の保証範囲に限定されます。

この事業について

独立行政法人福祉医療機構からの助成金により、
除排雪機材を購入して実施する事業です

お問い合わせ先

社会福祉協議会（電話2-3732）

ご存じですか？

心配ごと相談

知ってましたか？
「心配ごと相談」は
月～金のお好きな時間に
ご利用できます



- ①まず社協にお電話下さい。
希望の相談員がいる場合は
お名前を、いない場合は相談
内容をお知らせ下さい。
- ②相談員に連絡し、相談室に
来て頂く時間を決めます。
また直接相談員に電話で相談
することも可能です。

電話番号2-3732

相談員名簿

岸 本 勲	(学識経験者)
山 口 光 子	(社協理事)
井 上 孝 一	(社協理事)
北 村 舜 襄	(民生児童委員)
今 井 經 二	(行政相談員)
小 池 栄 治	(社協理事)
河 本 孝 治	(生活支援員)

あたたかいご寄付をありがとうございます

あたたかいご寄付をお寄せいただき、厚くお礼申し上げます。
みなさまのご厚意に感謝し、地域の福祉活動に活用させていただきます
(平成20年11月20日～12月18日)

◎香典返しを廃して

- ・柏 倉 晴 江 様 (永代町)
- ・中 谷 美智子 様 (若 佐)
- ・垂 水 トミ子 様 (啓 生)
- ・水 戸 貢 様 (仁 倉)

◎全快祝いを廃して

- ・大 西 孝 江 様 (朝 日)

◎社会福祉事業に対して

- ・斉 藤 登久代 様 (浜佐呂間)

100キロマラソン ボランティア活動について
雑誌ランナーズから受賞した賞の副賞を社協へ

年末年始の業務について

年末年始の業務について次のとおり
開設時間をお知らせいたします

社会福祉協議会事務局

仕事納め 十二月三〇日
仕事始め 一月 六日

入浴日時

十二月三〇日	午後二時～六時	休
十二月三十一日	午後二時～六時	休
一月 一日	午後二時～六時	休
一月 二日	午後二時～六時	休
一月 三日	午後二時～六時	休
一月 四日	午後二時～六時	休
一月 五日	午後二時～六時	休
一月 六日	午後二時～六時	休

平常どおり

ホワイトドーム休館日

十二月二十九日～ 一月五日

ホームヘルプサービス

年中無休
午前六時～午後十時

第6回盲導犬宿泊体験セミナー開催案内

～一日盲導犬ユーザーになってみませんか?～

- ☆日 時 平成21年3月21日(土)13:00～平成21年3月22日(日)14:00
- ☆会場宿泊先 財)北海道盲導犬協会(北海道札幌市南区南30条西8丁目1-1)
- ☆参加対象 視覚障害による身体障害者手帳をお持ちの15歳以上の方で、これまで盲導犬との生活を体験したことがない方と、同伴の方
- ☆参加費 2,500円
- ☆セミナー内容
 - ・盲導犬との体験歩行・・・指導員とともに札幌市内を歩行します
 - ・盲導犬の管理体験・・・食事、排泄、手入れなど盲導犬の日常のお世話
 - ・交流会・・・各地からやってくる参加者との交流、現役盲導犬ユーザーとの交流
- ☆送 迎 盲導犬協会最寄り駅や新千歳空港までの送迎が可能です。
- ☆申込み先 財)北海道盲導犬協会 電話 011-582-8222 / FAX 011-582-7715
- ☆申込み方法 電話もしくはFAXにてお申し込みください。
- ☆申込み締切 平成21年2月26日(木)

※盲導犬に「興味がある」方で、
今回残念ながら参加できないという方も是非ご連絡ください。
別途相談させていただきます。

